

## 平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月26日

上場会社名 コカ・コーラウエスト株式会社

上場取引所 東大福

コード番号 2579 URL <http://www.ccwest.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 民雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務統括部長兼財務部長 (氏名) 角町 誠

TEL 092-641-8585

四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	84,707	△2.0	23	△98.3	△158	—	△547	—
23年12月期第1四半期	86,465	11.4	1,377	—	1,340	—	△522	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 244百万円 (—%) 23年12月期第1四半期 △979百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	△5.47	—
23年12月期第1四半期	△5.22	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	336,673	225,976	67.0
23年12月期	342,560	227,864	66.4

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 225,633百万円 23年12月期 227,491百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	20.00	—	21.00	41.00
24年12月期	—				
24年12月期(予想)		20.00	—	21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	183,100	△3.6	4,400	△26.8	4,300	△28.5	2,100	△11.1	21.00
通期	391,500	△2.1	16,700	1.4	16,800	4.7	9,100	30.1	91.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	111,125,714 株	23年12月期	111,125,714 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	11,154,126 株	23年12月期	11,153,881 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	99,971,669 株	23年12月期1Q	99,973,246 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、[添付資料] P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

目 次

頁

添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要の顕在化や個人消費の緩やかな回復により、景気は持ち直しつつあります。しかし、福島第1原発事故に端を発した電力供給問題等の影響は継続しており、また、原油・原材料等の価格高騰の影響などから、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、昨年の東日本大震災の影響の反動から市場成長はプラスとなったものの、消費者の節約志向の継続に伴う低価格化の影響などにより、清涼飲料各社間での激しい販売競争は継続しており、清涼飲料各社を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しております。

このような経営環境の中、当社グループは、「長期経営構想2020」の第1ステップ「革新と成長の3年」の2年目である平成24年度の経営方針を、『お客さま起点による戦略を市場で着実に実行し、収益・ボリューム/シェアの持続的成長を図る』とともに、『「ビジネスモデルの8つの変革」を実行に移し、中長期的視点での経営基盤の確立を図る』こととし、それによって経営目標を達成するとともに将来に亘って成長を続け、収益力を高める基盤づくりを進めております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績の状況は、次のとおりであります。

#### <売上高>

清涼飲料事業においては、販売数量はほぼ前年通りとなりましたが、販売構成の変化による影響等により、売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ22億6百万円減少し、755億5千8百万円（前年同期比2.8%減）となりました。一方、健康食品事業においては、スキンケア商品の販売が好調であった影響等により、売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ8億5千3百万円増加し、91億4千8百万円（同比10.3%増）となりました。これにより、セグメント合計の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ17億5千8百万円減少し、847億7百万円（同比2.0%減）となりました。

#### <営業損益>

清涼飲料事業においては、売上高の減少に加え、原材料・資材価格高騰の影響等により、営業損益は、前第1四半期連結累計期間に比べ16億1千8百万円減少し、12億3千3百万円の営業損失となりました。一方、健康食品事業においては、売上高の増加の影響等により、営業利益は、前第1四半期連結累計期間に比べ2億7千6百万円増加し、12億5千7百万円（同比28.2%増）となりました。これにより、セグメント合計の営業利益は、前第1四半期連結累計期間に比べ13億5千3百万円減少し、2千3百万円（同比98.3%減）となりました。

#### <経常損益および四半期純損益>

経常損益は、営業利益の減少に加え、負ののれんの償却が前連結会計年度において終了した影響等により、前第1四半期連結累計期間に比べ14億9千9百万円減少し、1億5千8百万円の経常損失となりました。また、四半期純損益は、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失の発生が、前第1四半期連結累計期間のみの発生であった影響等はありませんでしたが、前第1四半期連結累計期間に比べ2千5百万円減少し、5億4千7百万円の四半期純損失となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ58億8千7百万円減少し、3,366億7千3百万円（同比1.7%減）となりました。これは主に、法人税等や配当金の支払いに充当するための譲渡性預金の償還等に伴う有価証券の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ39億9千8百万円減少し、1,106億9千7百万円（同比3.5%減）となりました。これは主に、法人税等の支払いによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ18億8千8百万円減少し、2,259億7千6百万円（同比0.8%減）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況等につきましては、次のとおりであります。

#### <営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、2千6百万円の支出（前年同期53億3千8百万円の収入）となりました。法人税等の支払額が13億6千1百万円増加したことに加え、たな卸資産および仕入債務の増減による運転資金の支出が33億3千7百万円増加したことなどにより、当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間に比べ53億6千4百万円の減少となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、49億2千5百万円の収入（前年同期41億6百万円の支出）となりました。当第1四半期連結累計期間において、譲渡性預金の償還等による163億1百万円の収入があったことなどにより、当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間に比べ90億3千2百万円の増加となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、35億2千4百万円の支出（前年同期45億7千7百万円の支出）となりました。リース債務の返済による支出が減少したことにより、当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間に比べ10億5千2百万円の増加となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ13億7千3百万円増加し、359億3千8百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、厳しい経済環境による消費低迷の影響を受け、営業利益、経常利益、四半期純利益は計画を下回りました。平成24年12月期第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、売上拡大に向けた諸施策と、更なるコスト削減に取り組むとともに、飲料業界の最盛期である夏場の天候、原材料・資材の更なる高騰や夏場の電力供給等のリスクを考慮し、平成24年2月7日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,208	25,970
受取手形及び売掛金	25,335	22,619
有価証券	26,738	16,744
商品及び製品	21,954	24,414
仕掛品	464	641
原材料及び貯蔵品	1,450	2,476
その他	18,550	19,018
貸倒引当金	△504	△497
流動資産合計	119,197	111,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,525	34,176
機械装置及び運搬具（純額）	20,497	20,213
販売機器（純額）	20,820	21,695
土地	52,774	52,606
建設仮勘定	395	1,286
その他（純額）	2,204	2,058
有形固定資産合計	130,218	132,036
無形固定資産		
のれん	47,474	46,705
その他	4,723	4,988
無形固定資産合計	52,198	51,694
投資その他の資産		
投資有価証券	24,583	25,893
前払年金費用	5,827	5,529
その他	11,109	10,697
貸倒引当金	△574	△566
投資その他の資産合計	40,946	41,554
固定資産合計	223,362	225,285
資産合計	342,560	336,673

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,657	17,416
1年内返済予定の長期借入金	2,542	2,542
未払法人税等	2,750	264
未払金	15,656	16,008
販売促進引当金	160	161
その他	6,812	7,197
流動負債合計	46,579	43,591
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	10,273	9,019
退職給付引当金	1,018	951
役員退職慰労引当金	117	122
その他	6,707	7,011
固定負債合計	68,116	67,105
負債合計	114,695	110,697
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,072
利益剰余金	130,655	128,008
自己株式	△25,764	△25,764
株主資本合計	229,195	226,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,703	△914
その他の包括利益累計額合計	△1,703	△914
少数株主持分	373	343
純資産合計	227,864	225,976
負債純資産合計	342,560	336,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	86,465	84,707
売上原価	43,274	42,680
売上総利益	43,190	42,026
販売費及び一般管理費	41,813	42,003
営業利益	1,377	23
営業外収益		
受取利息	16	22
受取配当金	10	10
負ののれん償却額	103	—
その他	146	144
営業外収益合計	278	177
営業外費用		
支払利息	175	159
持分法による投資損失	15	124
固定資産除却損	37	44
その他	86	30
営業外費用合計	314	359
経常利益又は経常損失(△)	1,340	△158
特別損失		
災害による損失	17	—
たな卸資産処分損	393	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	726	—
特別損失合計	1,137	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	202	△158
法人税、住民税及び事業税	318	211
法人税等調整額	396	173
法人税等合計	714	384
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△512	△543
少数株主利益	10	3
四半期純損失(△)	△522	△547



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△512	△543
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△471	780
持分法適用会社に対する持分相当額	4	7
その他の包括利益合計	△466	788
四半期包括利益	△979	244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△989	240
少数株主に係る四半期包括利益	10	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	202	△158
減価償却費	5,149	4,928
のれん償却額	674	660
負ののれん償却額	△103	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,474	△58
前払年金費用の増減額(△は増加)	4,490	298
受取利息及び受取配当金	△27	△32
支払利息	175	159
持分法による投資損益(△は益)	15	124
固定資産売却損益(△は益)	△2	0
固定資産除却損	31	21
売上債権の増減額(△は増加)	702	2,617
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,718	△3,662
その他の資産の増減額(△は増加)	2,134	500
仕入債務の増減額(△は減少)	152	△1,240
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,083	△1,116
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	726	—
その他	207	174
<b>小計</b>	<b>7,257</b>	<b>3,220</b>
利息及び配当金の受取額	16	26
利息の支払額	△81	△57
法人税等の支払額	△1,853	△3,215
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,338</b>	<b>△26</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2,069	△5,808
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,000	16,301
固定資産の取得による支出	△4,118	△5,680
固定資産の売却による収入	4	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	553
長期貸付けによる支出	△20	△125
長期貸付金の回収による収入	5	59
定期預金の預入による支出	△104	△600
定期預金の払戻による収入	195	210
その他	△0	15
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,106</b>	<b>4,925</b>

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,254	△1,254
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△1,999	△2,099
少数株主への配当金の支払額	△6	△33
その他	△1,316	△137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,577	△3,524
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,346	1,373
現金及び現金同等物の期首残高	37,434	34,564
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,088	35,938

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	清涼飲料事業 (百万円)	健康食品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)
売上高				
外部顧客への売上高	77,765	8,294	404	86,465
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	77,765	8,294	404	86,465
セグメント利益	384	980	11	1,377

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	清涼飲料事業 (百万円)	健康食品事業 (百万円)	合計 (百万円)
売上高			
外部顧客への売上高	75,558	9,148	84,707
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	75,558	9,148	84,707
セグメント利益 又は損失(△)	△1,233	1,257	23

(注) 売上高およびセグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「その他事業」を営んでいた中国ピアノ運送株式会社は、平成24年1月31日付で当社が所有する全株式を売却したことに伴い、平成24年1月1日をみなし売却日として連結の範囲から除外しております。この影響により、「その他事業」の資産はなくなりました。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

上述の中国ピアノ運送株式会社の株式の売却に伴い、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを、従来の「清涼飲料事業」、「健康食品事業」、「その他事業」の3つの報告セグメントから、「清涼飲料事業」、「健康食品事業」の2つの報告セグメントに変更しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。